

様式 4

令和 5 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

令和 5 年 9 月 2 日

学 長 殿

所属部局・職名 福島大学大学院教職実践研究科

申請者名 深谷 あんじ

助成の区分 (該当するものに○)	○学会参加助成・学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事業名	日本特殊教育学会第 61 回大会
成果の概要	<p>【会期】令和 5 年 8 月 25 日（金）～27 日（日）</p> <p>【場所】横浜国立大学（現地で発表）</p> <p>【発表日時】令和 5 年 8 月 25 日（金）15:30～16:30</p> <p>【ポスター番号】P1B-9</p> <p>【発表タイトル】教育系大学生の発達障害児への対応に関する考え方の変化—特別支援教育の学びによる合理的配慮及び漢字指導の工夫—</p> <p>【発表者】○深谷 あんじ（福島大学大学院教職実践研究科） 鶴巻 正子（福島大学人間発達文化学類）</p> <p>【研究内容】</p> <p>本研究の目的は、将来、教員を目指す教育系大学生を対象に、特別支援教育に関する学びをすることで、合理的配慮の寛容さ（適切さ）と漢字指導における工夫についての考え方にどのような変化が見られるかを明らかにすることであった。大学 1 年生と大学 4 年生に合理的配慮や漢字指導の考え方に関する質問紙調査を行い、得られたデータをもとに、特別支援学校教諭免許状の取得予定の有無と学年による比較をし、考察を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>今回の発表では、多くの参加者に貴重なご意見やご指導をいただくことができた。自分自身の研究成果を発表し、他大学の教授や院生との質疑応答を繰り返す中で、様々な学びを得ると同時に、学外で発表することの大切さを学んだ。</p>